

設計図書の照査ガイドライン

事業振興部 工事管理課・技術管理課
平成27年9月

1. 「設計図書の照査」の基本的考え方
 - (1) 「設計図書の照査」に係わる規定について
 - (2) 「設計図書の照査」の位置づけ
2. 「設計図書の照査」の範囲を超えるもの(事例)
3. 設計図書の照査項目及び内容
4. 照査項目チェックリスト
 - (1) 照査項目チェックリストの作成手順
 - (2) 照査項目チェックリスト作成にあたっての留意事項
5. 設計図書の照査要領

1. 「設計図書の照査」の基本的考え方

(1) 「設計図書の照査」に係わる規定について

■工事請負契約書第18条(条件変更等)及び仕様書第1編1-1-3設計図書の照査等においては、次のように受注者が設計図書の照査を自らの負担により行うこととなっている。

工事請負契約書第18条(条件変更等)

第18条 受注者は、工事の施工に当たり、次の各号のいずれかに該当する事実を発見したときは、その旨を直ちに監督職員に通知し、その確認を請求しなければならない。

- 一 図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書が一致しないこと(これらの優先順位が定められている場合を除く。)
 - 二 設計図書に誤謬又は脱漏があること。
 - 三 設計図書の表示が明確でないこと。
 - 四 工事現場の形状、地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された自然的又は人為的な施工条件と実際の工事現場が一致しないこと。
 - 五 設計図書で明示されていない施工条件について予期することのできない特別な状態が生じたこと。
- 2 監督職員は、前項の規定による確認を請求されたとき又は自ら同項各号に掲げる事実を発見したときは、受注者の立会いの上、直ちに調査を行わなければならない。ただし、受注者が立会に応じない場合には、受注者の立会いを絵図に行うことができる。
 - 3 発注者は、受注者の意見を聴いて、調査の結果(これに対してとるべき措置を指示する必要があるときは、当該指示を含む。)をとりまとめ、調査の終了後14日以内に、その結果を受注者に通知しなければならない。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、あらかじめ受注者の意見を聴いた上、当該期間を延長することができる。
 - 4 前項の調査の結果において第1項の事実が確認された場合において、必要があると認められるときは、次に掲げるところにより、設計図書の訂正又は変更を行わなければならない。
 - 一 第1項第1号から第3号までのいずれかに該当し設計図書を訂正する必要があるもの 発注者が行う。
 - 二 第1項第4号又は第5号に該当し設計図書を変更する場合で工事目的物の変更を伴うもの 発注者が行う。
 - 三 第1項第4号又は第5号に該当し設計図書を変更する場合で工事目的物の変更を伴わないもの 発注者と受注者とが協議して発注者が行う。
 - 5 前項の規定により設計図書の訂正又は変更が行われた場合において、発注者は、必要があると認められるときは工期若しくは請負代金額を変更し、又は受注者に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

1. 「設計図書の照査」の基本的考え方

仕様書 1-1-1-3 設計図書の照査等

2. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの負担により工事請負契約書第18条第1項第1号から第5号に係る設計図書の照査を行い、該当する事実がある場合は、監督職員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

なお、確認できる資料とは、現地地形図、設計図との対比図、取り合図、施工図等を含むものとする。また、受注者は、監督職員から更に詳細な説明または書面の追加の要求があった場合は従わなければならない。

(2) 「設計図書の照査」の位置づけ

- 受注者は、工事請負契約書及び土木工事共通仕様書に基づいて、設計照査を行うこととなる。
- 仕様書 2. 設計図書の照査 に記載のあるとおり、照査結果から工事請負契約書第18条にある、現場と設計図書が一致しないこと的事实を監督職員が確認できる資料(現地地形図、設計図との対比図、取り合図、施工図等)の作成は、受注者の負担により作成を行う。
- また、照査結果により、計画の見直し、図面の再作成、構造計算の再計算、追加調査等が生じた場合、それらに要する費用の負担は発注者の責任において行うものとする。

【受注者が自らの負担で行う部分】(設計図書の照査に必要な資料)

- ①設計照査に係る費用
- ②設計照査の結果を監督職員に説明するために資料作成
(現地地形図、設計図との対比図、取り合図、施工図等)
- ③監督職員から更に詳細な説明を求められ、説明するための資料作成

【発注者が実施する部分】(設計変更するために必要な資料)

- ①照査結果により生じた、計画の見直し、図面の再作成、構造計算の再計算、追加調査等
受注者に作成を指示する場合は、その費用を負担する。

2. 「設計図書の照査」の範囲を超えるもの(事例)

設計変更が可能なケース (設計変更するために必要な資料)

1. 現地測量の結果、**横断図を新たに作成**する必要があるもの。又は**縦断計画の見直しを伴う横断図の再作成**が必要となるもの。
2. 施工の段階で判明した推定岩盤線の変更に伴う**横断図の再作成**が必要となるもの。ただし、当初横断図の推定岩盤線の変更は「設計図書の照査」に含まれる。
3. 現地測量の結果、**排水路計画を新たに作成**する必要があるもの。
4. 構造物の位置や計画高さ、延長が変更となり**構造計算の再計算**が必要となるもの。
5. 構造物の載荷高さが変更となり、**構造計算の再計算**が必要となるもの。
6. 現地測量の結果、構造物のタイプが変更となるもの。(標準設計で修正可能なものであっても照査の範囲をこえるものとして扱う)。
7. 構造物の構造計算書の計算結果が設計図と違う場合の**構造計算の再計算及び図面作成**が必要となるもの。
8. 基礎杭が試験杭等により変更となる場合の**構造計算及び図面作成**。
9. 土留め等の構造計算において現地条件や施工条件が異なる場合の**構造計算及び図面作成**。
10. 「設計要領」・「各種示方書」等との**対比設計**。
11. **設計根拠まで遡る見直し、必要とする工費の算出**。
12. **舗装修繕工事の縦横断設計**(当初の設計図書において縦横断面図が示されており、その修正を行う場合とする。
なお、設計図書で縦横断図が示されておらず土木工事共通仕様書「14-4-3路面切削工」「14-4-5切削オーバーレイ工」「14-4-6オーバーレイ工」等に該当し縦横断設計を行うものは設計照査に含まれる)。

3. 設計図書の照査項目及び内容

No.	項目	主な内容	
1	当該工事の条件明示内容の照査	1-1	特記仕様書における明示事項に不足がないかの確認
		1-2	特記仕様書における明示事項と現場条件に相違がないかの確認
2	関連資料・貸与資料の確認	2-1	ポンプの排水量は満足しているかの確認 ポンプ排水を行うにあたり、土質の確認によって、クイックサンド、ポイリングが起きない事を検討し確認したか
		2-2	ウェルポイントあるいはディープウェルを行うにあたり、工事着手前に土質の確認を行い、地下水位、透水係数、湧水量等を確認したか
		2-3	浚渫工の施工において、濁水位、平水位、最高水位、潮位及び流速・風浪等の水象・気象の施工に必要な資料を施工前に調査・確認したか
		2-4	地質調査報告書は整理されているか ・追加ボーリングは必要ないかの確認
		2-5	軟弱地盤の施工に必要な資料はあるかの確認（圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方流動等）
		2-6	測量成果報告書（平面、横断、縦断）は整理されているかの確認
		2-7	共通仕様書及び特記仕様書に示される資料はあるかの確認
		2-8	設計計算書等（構造物（指定仮設含む）、隣接工区等含む）はあるかの確認
		2-9	特記仕様書等に明示してある支障物件移設予定時期及び占用者に関する資料はあるかの確認
		2-10	地盤沈下、振動等による影響が第三者におよばないか、関連資料はあるかの確認
		2-11	地下占用物件である電線、電話線、水道、道路管理者用光ケーブル、その他の地下埋設物を示した図面（平面、横断、深さ等）等関連資料があるか
		2-12	設計成果物等（報告書等）の貸与資料（電子データを含む）に不足がないか、追加事項があるかの確認
3	現地踏査	3-1	工事着手後直ちに測量を実施し、測量標（仮BM）、工事中多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認
		3-2	建設発生土の受入地への搬入に先立ち、容量が十分か確認
		3-3	周辺地域の地下水利用状況等から作業に伴い水質水量等に影響を及ぼす恐れがないか確認
		3-4	土留・仮締切工の仮設H鋼杭、仮設鋼矢板の打込みに先行し、支障となる埋設物の確認のため、溝掘り等を行い、埋設物を確認
		3-5	仮囲いまたは立入防止柵の設置にあたり、交通に支障をきたす場合あるいは苦情が発生すると予想される場合には、工事前に対策を検討し、確認
		3-6	砂防土工における斜面对策としての盛土工（押え盛土）を行うに当たり、盛土量、盛土の位置ならびに盛土基礎地盤の特性等について現状の状況等を照査

3. 設計図書の照査項目及び内容

No.	項目	主な内容	
3	現地踏査	3-7	施肥、灌水、薬剤散布の施工にあたり、施工前に施工箇所の状況を調査するものとし、設計図書に示す使用材料の種類、使用量等を確認
		3-8	境界の施工前及び施工後において、近接所有者の立会による境界確認
		3-9	トンネルの施工にあたって、工事着手前に測量を行い、両坑口間の基準点との相互関係を確認
		3-10	道路管理台帳及び占有者との現地確認
		3-11	鋼矢板等、仮設杭の施工に先立ち、明らかに埋設物がないことが確認されている場合を除き、建設工事公衆災害防止対策要綱に従って埋設物の存在の有無を確認
		3-12	電線共同溝設置の位置・線形については、事前に地下埋設物及び工事区間の現状について測量及び調査を行い確認
		3-13	工事に先立ち、現地を詳細に把握するために現地調査を行い、補強を実施しようとする橋脚および基礎について、形状や鉄筋の位置、添架物や近接する地下構造物等の状況を把握するとともに、海水または鋼材の腐食を促進させる工場排水等の影響や、鋼材の位置する土中部が常時乾湿を繰り返す環境にあるかどうか等を事前に確認
		3-14	漏水補修工の施工箇所は、設計図書と現地の漏水箇所とに不整合がないか施工前に確認
		3-15	地質調査報告書と工事現場の踏査結果(地質、わき水、地下水など)が整合するかの確認
		3-16	使用する材料や重機の運搬・搬入路を確認
		3-17	土石流の到達するおそれのある現場での安全対策について、現地踏査を実施しあらかじめその対策を確認
		3-18	アンカー工の施工に際しては、工事着手前に法面の安定、地盤の状況、地中障害物、湧水を調査
		3-19	周囲の地盤や構造物に変状を与えないように、締切盛土着手前に現状地盤を確認
4	設計図	4-1	桁の工作に着手する前に原寸図を作成し、図面の不備や製作上に支障がないかどうかを確認
		4-2	施工前に、配筋図、鉄筋組立図、及びかぶり詳細図により組立可能か、また配力鉄筋および組立筋を考慮したかぶりとなっているかを照査
		4-3	一般図には必要な項目が記載されているかの確認(水位、設計条件、地質条件、建築限界等)
		4-4	平面図には必要な工事内容が明示されているかの確認(法線、築堤護岸、付属構造物等)
		4-5	構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているかの確認
		4-6	構造図に地質条件(推定岩盤線、柱状図、地下水位等)を明記してあるかの確認
		4-7	図面が明瞭に描かれているかの確認(構造物と寸法線の使い分けがなされているか)

3. 設計図書の照査項目及び内容

No.	項目	主な内容
4	設計図	4-8 構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているかの確認
		4-9 各設計図がお互いに整合されているかの確認 ・一般平面図と縦断図(構造一般図と線形図) ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図 ・下部工箱抜き図と付属物図(支承配置図、落橋防止図等) ・本体と付属物の取り合い 等
		4-10 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているかの確認(特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか) ・壁厚 ・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置) ・使用材料 ・その他
		4-11 形状寸法、使用材料及びその配置は計算書と一致しているかの確認
		4-12 地質調査報告書と設計図書の整合(調査箇所と柱状図、地質縦断面図・地質横断面図)はとれているかの確認
		4-13 隣接工区等との整合はとれているかの確認
		4-14 構造物の施工性に問題はないか。設計図等に基づいた適正な施工が可能かの確認(架設条件が設計図に反映されているか) ※橋梁上部工のみ対象
		5
6	設計計算書	6-1 使用されている設計基準等は適切かの確認
		6-2 設計基本条件は適切かの確認(荷重条件、施工条件、使用材料と規格、許容応力度等) ※橋梁上部工事のみ対象
		6-3 構造・線形条件は妥当かの確認(橋長、支間長、幅員構成、平面・横断線形、座標系等) ※橋梁上部工事のみ対象

4. 照査項目チェックリスト

受注者は、施工前及び施工途中において「設計図書の照査」を実施するが、「3. 設計図書の照査項目及び内容」に基づき照査を行うこととし、その照査結果について、以降に示す照査項目チェックリストについては、様式第9号に添付して監督職員に報告する等に活用する。

(1) 照査項目チェックリストの作成手順

- ① 施工前に行う設計図書の照査時に、工事内容から判断して照査が必要と考えられる項目には「照査対象」欄の「有」にチェックをし、必要ないと考えられる項目には「無」にチェックを入れる。
なお、施工前には確認できないが、将来的に照査が必要な項目にも「有」にチェックを入れるものとし、照査の各段階でそれぞれ見直すこととする。
- ② 照査を完了した項目について、「照査実施」欄の「済」にチェックをし、日付を記入する。
- ③ 照査を完了した項目について、工事請負契約書第18条第1項第1号から第5号に該当する事実がある場合には「該当事実」欄の「有」にチェック、ない場合には「無」にチェックを入れる。
- ④ チェックリストを様式第9号に添付して監督職員に提出し、照査状況及び結果を報告する。
その際に③の「該当事実」が「有」の項目にチェックした場合は、監督職員にその事実が確認できる資料も添付して提出する。

4. 照査項目チェックリスト

(2) 照査項目チェックリスト作成にあたっての留意事項

- ① 施工前及び施工途中の各照査段階において、照査を実施した項目にチェックと日付を記載し、完了している照査項目、今回実施した照査項目、照査対象であるが未照査項目を明確にする。
- ② 1つの照査項目の中に複数の確認事項がある場合、打合せ簿、備考欄、別紙等を用いて確認済の内容がわかるようにする。
- ③ 照査内容の項目が漠然としており、発注者の認識と異なる恐れがあると判断される場合は、備考欄等に具体の確認項目を明確にしておく。
- ④ 特記仕様書、工事内容、規模、重要度等により、照査項目や内容を追加する必要がある場合は、項目を追加して利用する。
ただし、工事によって照査の必要がない項目も含まれることになるが、「照査対象」欄の「無」にチェックすることも照査の一部と考えられることから、チェックリストから項目を削除することは行わないこと。

4. 照査項目チェックリスト

提出年月日: _____

照査項目チェックリスト

工事名: _____

No.	項目	主な内容	照査対象		照査実施		該当事実		備考
			有	無	済	日付	有	無	
1	当該工事の条件明示内容の照査	1-1 特記仕様書における明示事項に不足がないかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		1-2 特記仕様書における明示事項と現場条件に相違がないかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	関連資料・貸与資料の確認	2-1 ポンプの排水量は満足しているか ポンプ排水を行うにあたり、土質の確認によって、クイックサンド、ボーリングが起きない事を検討し確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-2 ウェルポイントあるいはディープウェルを行うにあたり、工事着手前に土質の確認を行い、地下水位、透水係数、湧水量等を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-3 浚渫工の施工において、濁水位、平水位、最高水位、潮位及び流速・風浪等の水象・気象の施工に必要な資料を施工前に調査・確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-4 地質調査報告書は整理されているか ・追加ボーリングは必要ないかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-5 軟弱地盤の施工に必要な資料はあるかの確認（圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方流動等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-6 測量成果報告書(平面、横断、縦断)は整理されているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-7 共通仕様書及び特記仕様書に示される資料はあるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-8 設計計算書等(構造物(指定仮設含む)、隣接工区等含む)はあるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-9 特記仕様書等に明示してある支障物件移設予定時期及び占有者に関する資料はあるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4. 照査項目チェックリスト

No.	項目	主な内容	照査対象		照査実施		該当事実		備考
			有	無	済	日付	有	無	
2	関連資料・貸与資料の確認	2-10 地盤沈下、振動等による影響が第三者におよぼさないか、関連資料はあるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-11 地下占用物件である電線、電話線、水道、道路管理者用光ケーブル、その他の地下埋設物を示した図面(平面、横断、深さ等)等関連資料があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2-12 設計成果物等(報告書等)の貸与資料(電子データを含む)に不足がないか、追加事項があるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	現地踏査	3-1 工事着手後直ちに測量を実施し、測量標(仮BM)、工多用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-2 建設発生土の受入地への搬入に先立ち、容量が十分か確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-3 周辺地域の地下水利用状況等から作業に伴い水質水量等に影響を及ぼす恐れがないか確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-4 土留・仮締切工の仮設H鋼杭、仮設鋼矢板の打込みに先行し、支障となる埋設物の確認のため、溝掘り等を行い、埋設物を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-5 仮囲いまたは立入防止柵の設置にあたり、交通に支障をきたす場合あるいは苦情が発生すると予想される場合には、工事前に対策を検討し、確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-6 砂防土工における斜面对策としての盛土工(押え盛土)を行うに当たり、盛土量、盛土の位置ならびに盛土基礎地盤の特性等について現状の状況等を照査したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-7 施肥、灌水、薬剤散布の施工にあたり、施工前に施工箇所の状況を調査するものとし、設計図書に示す使用材料の種類、使用量等を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-8 境界の施工前及び施工後において、近接所有者の立会による境界確認をしたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-9 トンネルの施工にあたって、工事着手前に測量を行い、両坑口間の基準点との相互関係を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-10 道路管理台帳及び占用者との現地確認をしたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-11 鋼矢板等、仮設杭の施工に先立ち、明らかに埋設物がないことが確認されている場合を除き、建設工事公衆災害防止対策要綱に従って埋設物の存在の有無を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-12 電線共同溝設置の位置・線形については、事前に地下埋設物及び工事区間の現状について測量及び調査を行い確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4. 照査項目チェックリスト

No.	項目	主な内容	照査対象		照査実施		該当事実		備考
			有	無	済	日付	有	無	
3	現地踏査	3-13 工事に先立ち、現地を詳細に把握するために現地調査を行い、補強を実施しようとする橋脚および基礎について、形状や鉄筋の位置、添架物や近接する地下構造物等の状況を把握するとともに、海水または鋼	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-14 漏水補修工の施工箇所は、設計図書と現地の漏水個所とに不整合がないか施工前に確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-15 地質調査報告書と工事現場の踏査結果(地質、わき水、地下水など)が整合するかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-16 使用する材料や重機の運搬・搬入路を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-17 土石流の到達するおそれのある現場での安全対策について、現地踏査を実施しあらかじめその対策を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-18 アンカー工の施工に際しては、工事着手前に法面の安定、地盤の状況、地中障害物、湧水を調査したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3-19 周囲の地盤や構造物に変状を与えないように、締切盛土着手前に現状地盤を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	設計図	4-1 桁の工作に着手する前に原寸図を作成し、図面の不備や製作上に支障がないかどうかを確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-2 施工前に、配筋図、鉄筋組立図、及びかぶり詳細図により組立可能か、また配力鉄筋および組立筋を考慮したかぶりとなっているかを照査したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-3 一般図には必要な項目が記載されているかの確認(水位、設計条件、地質条件、建築限界等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-4 平面図には必要な工事内容が明示されているかの確認(法線、築堤護岸、付属構造物等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-5 構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-6 構造図に地質条件(推定岩盤線、柱状図、地下水位等)を明記してあるかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-7 図面が明瞭に描かれているかの確認(構造物と寸法線の使い分けがなされているか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-8 構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4. 照査項目チェックリスト

No.	項目	主な内容	照査対象		照査実施		該当事実		備考
			有	無	済	日付	有	無	
4	設計図	4-9 各設計図がお互いに整合されているかの確認 ・一般平面図と縦断面図(構造一般図と線形図) ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図 ・下部工箱抜き図と付属物図(支承配置図、落橋防止図等) ・本体と付属物の取り合い、等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-10 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているかの確認(特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか) ・壁厚 ・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置) ・使用材料 ・その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-11 形状寸法、使用材料及びその配置は計算書と一致しているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-12 地質調査報告書と設計図書(調査箇所と柱状図、地質縦断面図・地質横断面図)はとれているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-13 隣接工区等との整合はとれているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4-14 構造物の施工性に問題はないか。設計図等に基づいた適正な施工が可能なかの確認(架設条件が設計図に反映されているか) ※橋梁上部工のみ対象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	数量計算	5-1 数量計算に用いた数量は図面の寸法と一致するかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		5-2 数量とりまとめは種類毎、材料毎の打合せ区分に合わせてまとめられているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		5-3 横断面図面による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているかの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	設計計算書	6-1 使用されている設計基準等は適切かの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		6-2 設計基本条件は適切かの確認(荷重条件、施工条件、使用材料と規格、許容応力度等) ※橋梁上部工事のみ対象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		6-3 構造・線形条件は妥当かの確認(橋長、支間長、幅員構成、平面・横断線形、座標系等) ※橋梁上部工事のみ対象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

5. 設計図書の照査要領

設計図書の照査要領

- 具体的な工種の照査項目・内容について、以下を参照とする。
- また、その他の工種についても、本照査要領に準拠出来るものがあれば、発注者と受注者において協議をし、運用できるものとする。

平成 2 2 年 2 月

北海道開発局工事管理課・技術管理課

5. 設計図書の照査要領

目次

樋門・樋管工事	17
築堤護岸工事	20
道路改良(舗装)工事	23
橋梁下部工事	26
共同溝工事	29
防波堤工事	33
ケーソン製作工事	35
岸壁工事(重力式)	37
岸壁工事(鋼構造式)	40
空港舗装工事	44
空港用地造成工事	47
空港道路・駐車場工事	50
頭首工工事	54

5. 設計図書の照査要領

用水機場工事	57
排水機場工事	60
ほ場整備工事	63
用水路工事	66
排水路工事	68
パイプライン工事	70
農道橋工事	72
農道工事	74
鉄筋コンクリート構造物	76

樋門・樋管工事照査要領（案）

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計基本条件	1) ゲートの設計水位、操作水位を確認したか。 2) 仮締め切り等の条件を確認したか。		
	施工上の基本条件	1) 水路切廻し、搬入路等の借地の見通しはあるか。 2) 工事時期は決定しているか。 3) 旧施設の撤去条件及び撤去時期は明確になっているか。 4) スペース、ヤード、工法等の制約条件はあるか。 5) 環境上特に配慮すべき事項があるか。 6) 樋門・樋管設置のための用地は確保されているか。 7) 近接構造物、地下構造物の有無を確認したか。 8) 工期を制約する現場条件はあるか。		
	関連機関との調整	1) 他の河川管理者との調整は済んでいるか。 2) 道路管理者との調整は済んでいるか。 3) 地元及び地権者との調整は済んでいるか。 4) 関連する工作物管理者との調整は済んでいるか。		
	資料の確認	1) 地質調査報告書があるか。 追加ボーリングは必要ないか。 軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方移動等) 2) 測量成果(平面、縦断、横断)が整備されているか。 3) 用地境界が明確であるか。		
	地盤条件	1) 追加調査の必要性はないか。		
	地形条件	1) 用地境界を確認したか。 2) 施工ヤード、スペースは確認したか。		
	施工条件	1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース、交通条件、水の切廻し) 2) 工事時期を確認したか。		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	現地踏査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 環境状況（工事における振動、騒音等の配慮面）を把握したか。 2) 支障物件（地下埋設物、既設樋管との離れ等）の状況を把握したか。 		
	設計図	<ol style="list-style-type: none"> 1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。 （水位、地質条件等） 2) 使用材料は計算書と一致しているか。 3) 水位等、設計条件が図面に明示されているか。 4) 図面が明瞭に描かれているか。 5) 各設計図が相互に整合しているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 （特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁厚 ・ 鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置） ・ 鋼材形状、寸法 ・ 使用材料 ・ その他 		
	数量計算	<ol style="list-style-type: none"> 1) 数量計算は、数量算出要領（第5編 数量計算の手引きは除く）と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法は図面と一致するか。 		

築堤護岸工事照査要領（案）

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計基本条件	1) 締切水位は決定しているか、又は水文資料はあるか 2) 瀬替、水替時流量決定のための、水文資料等はあるか		
	施工上の基本条件	1) 運搬路、切廻し河道、ヤード確保の見通しはあるか		
	関連機関との調整	1) 他の工作物管理者との調整は済んでいるか 2) 地権者及び地元等との調整は済んでいるか 3) 占有者との調整は済んでいるか		
	資料の確認	1) 測量成果（平面、横断、縦断）は整理されているか 2) 地質調査報告書は整理されているか 追加ボーリングは必要ないか 軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか （圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方移動等） 3) 用排水路系統図は整理されているか		
	地盤条件	1) 追加調査の必要はないか。		
	地形条件	1) 用地境界を確認したか。		
	施工条件	1) 施工上の制約条件を確認したか。 （スペース、交通条件、水の切廻し） 2) 工事時期を確認したか。		
	現地踏査	1) 支障物件の状況を把握したか		
	資料の確認	1) 貸与資料の不足点、追加事項があるか		
	設計図	1) 平面図には必要な工事内容が明示されているか （法線、築堤護岸、付属構造物等） 2) 構造物の基本寸法、高さ関係は照合されているか 3) 形状寸法、使用材料及びその配置は計算書と一致しているか		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	数量計算	<p>4) 構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているか</p> <p>5) 解り易い注記が付いているか</p> <p>6) 水位等設計条件が図面に明示されているか</p> <p>7) 図面が明瞭に描かれているか (構造物と寸法線の使い分けがなされているか)</p> <p>8) 各設計図がお互いに整合されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 <p>9) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁厚 ・ 鉄筋 (径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置) ・ 鋼材形状、寸法 ・ 使用材料 <p>1) 数量計算は、数量算出要領 (第5編 数量計算の手引きは除く) と整合しているか。</p> <p>2) 数量計算に用いた寸法は図面と一致するか</p> <p>3) 数量とりまとめは種類毎、材料毎の打合せ区分に合わせてまとめられているか</p> <p>4) 横断面図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか</p>		

道路改良（舗装）工事照査要領（案）

（平面交差点、小構造物を含む）

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	<p>施工上の留意点</p> <p>関連機関との調整及び協議関連資料の整理</p> <p>貸与資料の確認</p> <p>計画条件の確認</p> <p>付帯施設の必要性</p>	<p>1) 施工上の留意点があるか。</p> <p>1) 交差協議の調整が済んでいるか。 (道路、河川、鉄道、公安委員会、等)</p> <p>2) 地元及び地権者との調整が済んでいるか。</p> <p>3) バス路線となるかどうか。</p> <p>4) 水路管理者との協議は済んでいるか。</p> <p>5) 地下占有企業者との調整が済んでいるか。</p> <p>6) 保安林及び埋蔵文化財等との調整が済んでいるか。</p> <p>7) 各都道府県公害防止条例の適用区域及び規制値が明確になっているか。</p> <p>8) 都市計画及び土地利用が明確になっているか。</p> <p>9) 上位計画、開発行為及び電線類地中化の計画が明確になっているか。</p> <p>10) 土砂の処理場または土取場の位置、規模は明確になっているか。</p> <p>11) 休憩施設、チェーン着脱場等の計画が明確になっているか。</p> <p>1) 地質調査報告書があるか。又、内容は充分か。</p> <p>2) 測量成果(平面、縦断、横断)があるか。</p> <p>3) 埋設物台帳があるか。</p> <p>1) 排水工の計画条件は確認しているか。 ①排水系統(用水か排水か)及び断面の調査は明確になっているか。 ②水路管理者と協議してあるか。</p> <p>1) 標識計画はあるか。</p> <p>2) 照明・信号機(電気設備)は計画されているか。</p>		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	<p><平面交差点設計> 施工上の留意点</p> <p>関連機関との調整及び協議 関連資料の整理</p> <p>貸与資料の確認</p> <p>計画条件の確認</p> <p>用地条件</p> <p>用地条件</p> <p>数量計算</p>	<p>1) 施工上の留意点があるか。</p> <p>1) 交差協議の調整が済んでいるか。 (道路、河川、鉄道、公安委員会等)</p> <p>2) 地元及び地権者との調整が済んでいるか。</p> <p>3) バス路線となるかどうか。</p> <p>4) 地下占用企業者との調整が済んでいるか。</p> <p>5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整が済んでいるか。</p> <p>6) 各都道府県公害防止条例の適用区域及び規制値が明確になっているか。</p> <p>7) 都市計画及び土地利用が明確になっているか。</p> <p>8) 上位計画及び開発行為が明確になっているか。</p> <p>9) 電線類等の地下埋設計画があるか。</p> <p>1) 測量成果(平面、縦断、横断)があるか。</p> <p>2) 地質調査報告書があるか。</p> <p>3) 埋設物調査資料があるか。</p> <p>1) 用、排水工の計画は明確になっているか。</p> <p>1) 用地上の巾杭表はあるか。</p> <p>1) 用地巾杭表はあるか。</p> <p>1) 数量計算は、数量算出要領(第5編 数量計算の手引きは除く)と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)</p> <p>2) 数量計算に用いた記号、寸法は図面と一致するか。</p>		

橋梁下部工事照査要領（案）

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	施工上の基本条件	1) 架設条件は決定しているか 2) 環境対策は決定しているか 3) 運搬路、迂回路、ヤード確保の見通しはあるか 4) 近接構造物の有無に対する確認はおこなったか		
	関連機関との調整	1) 河川管理者との調整は済んでいるか 2) 道路管理者との調整は済んでいるか（工事用道路含む） 3) 港湾管理者との調整は済んでいるか 4) 鉄道との調整は済んでいるか 5) 警察との調整は済んでいるか 6) 地元及び地権者との調整は済んでいるか 7) 添架企業者との調整は済んでいるか 8) 公益企業者（埋設占用物件）との調整は済んでいるか 9) 漁業利権者との調整は済んでいるか		
	貸与資料の確認	1) 地質調査報告書（必要な本数、調査項目）はあるか 2) 測量成果報告書（平面、横断、縦断）はあるか 3) 軟弱地盤の判定に必要な資料（側方移動、液状化、圧密沈下等）はあるか		
	現地踏査	1) 環境状況（振動、騒音等の配慮）は把握したか 2) 支障物件の状況は把握したか 3) 施工時の注意事項は把握したか		
	地形条件	1) 用地境界は確認したか 2) 施工ヤードスペースは確認したか 3) 資機材運搬路は確保できるか		
	その他	埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているか		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計図	1) 一般図には必要な項目が記載されているか （設計条件、地質条件、建築限界等） 2) 構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているか 3) 各設計図がお互いに整合されているか ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 4) 使用材料は明記されているか 5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか （特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか） ・ 壁厚 ・ 鉄筋（径ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置） ・ 鋼材形状寸法 ・ 使用材料 ・ その他		
	数量計算	1) 数量計算は、数量算出要領（第5編 数量計算の手引きは除く）と整合しているか。 2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか 3) 数量取りまとめは種類毎、材料毎に打合わせ区分に合わせてまとめられているか 4) 橋台の後打ちコンクリートを分離して計上しているか		

共同溝工事照査要領（案）

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	<p>施工上の基本条件</p> <p>関連機関との調整</p> <p>関連資料の確認</p> <p>貸与資料の確認</p> <p>設計図</p>	<p>1) 工事時期と工程が明確になっているか。</p> <p>2) 標準的交通処理計画が明確になっているか。</p> <p>1) 河川管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>2) 鉄道管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>3) 高架橋管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>4) 道路管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>5) 地下施設（地下鉄、水路、横断地下道、危険物貯蔵タンクその他大型施設等）との調整は済んでいるか</p> <p>6) 溝内排水の流末処理に関する関連部所との調整はとれているか。</p> <p>1) 地質調査報告書との整合はとれているか。また地質調査は設計目的に対し十分な内容か。</p> <p>2) 環境状況（振動、騒音、井戸使用等の配慮面及び有毒ガス、酸欠空気等の調査）の調査は設計目的に対し十分な内容か。</p> <p>1) 地質調査報告書はあるか。</p> <p>2) 測量報告書（平面、縦断、横断等）はあるか。</p> <p>3) その他</p> <p>工事仕様書及び特記仕様書に示される資料はあるか。</p> <p>1) 各設計図がお互いに整合されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 <p>2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 （特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁厚 ・ 鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置） ・ 鋼材形状、寸法 		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	数量計算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料 ・ その他 <p>3) 構造物の施工性に問題はないか。</p> <p>1) 数量計算は、数量算出要領（第5編 数量計算の手引きは除く）と整合しているか。（工種分類、単位、有効数字、位取り、区分等）</p> <p>2) 数量計算に用いた数値は、設計図面と一致しているか。</p>		

港湾・漁港工事設計図書の照査要領(案)

平成17年3月

北 海 道 開 発 局

港湾空港部 港湾建設課

農業水産部 水産課

【防波堤工事】 照 査 項 目 一 覧 表

N o	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 気象・海象に関する設計条件を確認したか。 2) 中詰材料の使用条件(単位体積重量等)を確認したか。 3) 法線計画、工事基準面を確認したか。 4) 型枠脱型強度、設計基準強度を確認したか。			
	施工上の基本条件	1) 作業ヤード・資材積出施設・作業船係留施設は確保されているか。用地使用料の支払方法は確認されているか。 2) 施工区域に関する制約条件はあるか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件はあるか。 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 標識灯など安全上配慮すべき事項はあるか。 6) 海水汚濁防止対策など環境上配慮すべき事項はあるか。 7) 既設構造物や隣接する工作物を確認したか。 8) 支給材の数量・使用条件を確認したか。 9) 砲弾等の可能性を確認したか。			
	関連機関との調整	1) 港湾管理者・漁港管理者との打合せ協議は済んでいるか。 2) 海上保安部との協議は済んでいるか。 3) 利用者・漁業者との調整は済んでいるか。 4) 漁業活動への影響(作業船等の回航えい航区域の漁網設置状況・漁業への影響)を確認したか。 5) 騒音・振動・水質などの規制値が明確になっているか。 6) 重量物、長尺物等を運搬する場合の警察・道路管理者協議は済んでい			
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。 2) 測量成果(深淺測量図・基準点・水準点)はあるか。 3) 磁気探査等爆発物に関する資料はあるか(必要に応じ)			

【防波堤工事】 照 査 項 目 一 覧 表

N o	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	計画条件の確認	1) 灯台の設置計画は決定しているか。			
	施工条件	1) 施工上の制約条件は確認したか。 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 4) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況(騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。 (陸上ヤード及び海上施工箇所の漁具設置状況など)			
	設計図	1) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 2) 平面図・縦断面図・標準断面図が相互に整合しているか。 3) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が明記されているか。 (施工箇所が明示されているか) 4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。 5) 構造物の基本寸法と高さ・巾が照合しているか。 6) 設計図と現地測量結果が一致しているか。 7) 特記仕様書の内容が設計図に反映されているか。	不 要	不 要	
	数量計算	1) 数量計算は、港湾・漁港工事数量算出マニュアルと整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎、水中・水上別にまとめられているか。		不 要 不 要 不 要	

【ケーソン製作工事】照 査 項 目 一 覧 表

No	項目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 吃水や浮遊時の安定など、えい航条件を確認したか。 2) 脱型強度、進水前強度を確認したか。 3) バラスト材の有無、材料、高さ等を確認したか。			
	施工上の基本条件	1) ケーソンの製作・進水・仮置場所は決定しているか。 2) 作業ヤードは確保されているか。用地使用料の支払方法は確認されているか。 3) 作業ヤードには十分なトン数の係船柱が設置されているか 4) 施工区域に関する制約条件はあるか。 5) 工事工程(一部完成)や施工時期に関する制約条件はあるか。 6) 仮設工やケーソン仮置場の設置内容は整理されているか。 7) 標識灯など安全上配慮すべき事項はあるか。			
	関連機関との調整	1) 港湾管理者・漁港管理者との打合せ協議は済んでいるか。 2) 海上保安部との協議は済んでいるか。 3) 利用者・漁業者との調整は済んでいるか。 4) 漁業活動への影響(作業船等の回航えい航区域の漁網設置状況・漁業への影響)を確認したか。 5) 重量物、長尺物等を運搬する場合の警察・道路管理者協議は済んでいるか。			
	資料の確認	1) ケーソン製作・製作・進水・えい航時の航路・仮置場所毎の測量成果(深淺測量図)はあるか。 2) 海象条件に関する調査資料はあるか。			
	施工条件	1) 施工上の制約条件は確認したか。 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。			
	現地踏査	1) 環境状況(騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。 (陸上ヤード及び海上施工箇所の漁具設置状況など)			

【ケーソン製作工事】照 査 項 目 一 覧 表

No	項目	主 要 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計図	1) 図面が明瞭に描かれているか。 2) 一般図に必要な事項(打設割など)を記載されているか。 3) 形状寸法、使用材料及び配置は計算書と一致しているか。 4) 構造図と配筋図及び各配筋図の接合部分が相互に整合しているか。 5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。) <ul style="list-style-type: none"> ・壁厚 ・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長) ・鋼材の形状寸法 6) 立ち筋・ワイヤー等の形状・埋込箇所を確認したか。 7) 特記仕様書の内容が設計図に反映されているか。		不要	
	数量計算	1) 数量計算は、港湾・漁港工事数量算出マニュアルと整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。		不要	

【岸壁工事(重力式)】 照 査 項 目 一 覧 表

No	項目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 中詰材料の使用条件(単位体積重量等)を確認したか。 2) 対象船舶や上載荷重など施設の設計諸元を確認したか。 3) 埋立材料の使用条件(内部摩擦角等)を確認したか。 4) 法線計画や工事用基準面を確認したか。 5) 型枠脱型強度、設計基準強度を確認したか。			
	施工上の基本条件	1) 作業ヤード・資材積出施設・作業船係留施設は確保されているか。 用地使用料の支払方法は確認されているか。 2) 施工区域に関する制約条件はあるか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件はあるか。 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 標識灯など安全上配慮すべき事項はあるか。 6) 床掘土砂・埋立土砂の環境基準の確認が済んでいるか。 7) 海水汚濁防止対策など環境上配慮すべき事項はあるか。 8) 既設構造物や隣接する工作物、地下埋設物を確認したか。 9) 支給材の数量・使用条件を確認したか。			
	関連機関との調整	1) 港湾管理者・漁港管理者との打合せ協議は済んでいるか。 2) 海上保安部との協議は済んでいるか。 3) 利用者・漁業者との調整は済んでいるか。 4) 漁業活動への影響(作業船等の回航えい航区域の漁網設置状況・漁業への影響)を確認したか。 5) 地権者との調整は済んでいるか。 6) 埋設物・障害物件の所有者・管理者との調整は済んでいるか。 7) 公有水面埋立願書や実施アセスメントの内容、附帯条件を確認したか。 8) 騒音・振動・水質などの規制値が明確になっているか。 9) 土砂の処理場または土捨場の位置、規模は明確になっているか。 10) 重量物、長尺物等を運搬する場合の警察・道路管理者協議は済んでいるか。			

【岸壁工事(重力式)】 照 査 項 目 一 覧 表

N o	項 目	主 要 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。 2) 測量成果(深淺測量図、用地境界、基準点、水準点)はあるか。 3) 磁気探査等爆発物に関する調査資料はあるか。(必要に応じ)			
	計画条件の確認	1) 付属施設(防舷材・係船柱・車止、はしご等)の規格・配置は決定しているか。 2) 照明灯など電気設備の計画は決定しているか。 3) 給・排水設備の設置計画は決定しているか。			
	施工条件	1) 施工上の制約条件は確認したか。 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 4) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況(騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。 (陸上ヤード及び海上施工箇所の漁具設置状況など)			

【岸壁工事(重力式)】 照 査 項 目 一 覧 表

No	項目	主 要 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計図	1) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 2) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・平面図・縦断面図・標準断面図 ・構造図と配筋図 3) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が明記されているか。 (施工箇所が明示されているか) 4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。 5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。) ・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長) ・鋼材の形状寸法 6) 構造物の基本寸法と高さ・巾が照合しているか。 7) 設計図と現地測量結果が一致しているか。 8) 特記仕様書の内容が設計図に反映されているか。		不要	
	数量計算	1) 数量計算は、港湾・漁港工事数量算出マニュアルと整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎、水中・水上別にまとめられているか。		不要	

【岸壁工事（鋼構造式）】 照 査 項 目 一 覧 表

No	項目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 対象船舶や上載荷重など施設の設計諸元を確認したか。 2) 埋立材料の使用条件(内部摩擦角等)を確認したか。 3) 法線計画や工食用基準面を確認したか。 4) 型枠脱型強度、設計基準強度を確認したか。			
	施工上の基本条件	1) 作業ヤード・資材積出施設・作業船係留施設は確保されているか。 用地使用料の支払方法は確認されているか。 2) 施工区域に関する制約条件はあるか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件はあるか。 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 標識灯など安全上配慮すべき事項はあるか。 6) 海水汚濁防止対策など環境上配慮すべき事項はあるか。 6) 既設や隣接する工作物、地下埋設物を確認したか。 7) 床掘土砂・埋立土砂の環境基準の確認が済んでいるか。 8) 支給材の数量・使用条件を確認したか。			
	関連機関との調整	1) 港湾管理者・漁港管理者との打合せ協議は済んでいるか。 2) 海上保安部との協議は済んでいるか。 3) 利用者・漁業者との調整は済んでいるか。 4) 漁業活動への影響(作業船等の回航えい航区域の漁網設置状況・漁業への影響)を確認したか。 5) 地権者との調整は済んでいるか。 6) 埋設物・障害物件の所有者・管理者との調整は済んでいるか。 7) 公有水面埋立願書や実施アセスメントの内容、附帯条件を確認したか。 8) 騒音・振動・水質などの規制値が明確になっているか。 9) 土砂の処理場または土捨場の位置、規模は明確になっているか。 10) 重量物、長尺物等を運搬する場合の警察・道路管理者協議は済んでいるか。			

【岸壁工事（鋼構造式）】 照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。 2) 測量成果（深浅測量図、用地境界、基準点、水準点）はあるか。 3) 磁気探査等爆発物に関する調査資料はあるか。（必要に応じ）			
	計画条件の確認	1) 付属施設（防舷材・係船柱・車止、はしご等）の規格・配置は決定しているか。 2) 照明灯など電気設備の計画は決定しているか。 3) 防食工の施工内容陽極の取付位置は決定しているか。 3) 給・排水設備の設置計画は決定しているか。			
	施工条件	1) 施工上の制約条件は確認したか。 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 4) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況（騒音・振動への配慮）を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。 （陸上ヤード及び海上施工箇所の漁具設置状況など）			

【岸壁工事（鋼構造式）】 照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計図	1) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 2) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・平面図・縦断面図・標準断面図 ・構造図と配筋図 3) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が明記されているか。 (施工箇所が明示されているか) 4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。 5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。) ・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長) ・鋼材の形状寸法 6) 構造物の基本寸法と高さ・巾が照合しているか。 7) 設計図と現地測量結果が一致しているか。 8) 特記仕様書の内容が設計図に反映されているか。		不要	
	数量計算	1) 数量計算は、港湾・漁港工事数量算出マニュアルと整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎、水中・水上別にまとめられているか。		不要 不要 不要	

空港工事設計図書^の照査要領(案)

平成17年 4月

北海道開発局 港湾空港部 空港課

【 空港舗装工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 現地の地形、障害物件等を十分に確認したか。 2) 平面形状及び縦横断勾配が空港土木施設設計基準・空港舗装構造設計要領・北海道空港舗装構造設計指針に合致しているかを確認し 3) 設計荷重・設計作用反復回数・路床支持力を確認したか。 4) 舗装種別・必要舗装厚さを確認したか。 5) 照明灯火・気象観測施設・給油管路・アスリング・タイダウンリングは確認し 6) 排水勾配と排水口、排水路の位置関係は確認したか。 7) フレットの形状、取付誘導路の設置個所、場周道路・保安道路とのクリアランス並びに過去に実績等による積雪寒冷地に配慮した縦横断勾配となっているかを確認したか。 8) グルーピングの範囲、標識の種別及び形状を確認したか。		不要 不要 不要	
	施工上の基本条件	1) 工事用道路計画、施工機械の選定、資材搬入計画、工程計画は、設計の考えと合致するか。 2) 施工区域に関する制約条件は設計図書に明示しているか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件は設計図書に明示している 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 既設や隣接する工作物、地下埋設物を確認したか。 6) 不法侵入者対策(工事期間中の仮設柵及びゲート等)は十分検討されているか。			
	関連機関との調整	1) 空港管理者との協議は済んでいるか。 2) 防衛庁(供用飛行場)・気象庁・海上保安署との協議は済んでいるか。 3) 埋設物・障害物件の所有者・管理者との調整は済んでいるか。			
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。また、現地の地質条件と合致しているか。 2) 測量成果(用地測量図、用地境界、基準点、水準点)はあるか。また、現地と合致しているか。 3) 主要構造図、縦横断図、付属構造物図(排水工・照明灯火・給油管路・アスリング・タイダウンリング・グルーピング・標識工・目地工)等、必要な図面は揃っているか。また、現地と合致しているか。			

【 空港舗装工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 要 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	計画条件の確認	1) 開港時期(供用開始)・年次計画は、決定しているか。 2) 照明工事・無線工事等の計画は決定しているか。 3) 給油施設(ハイドラント・ピット)の設置計画は決定しているか。 4) スポット割り及びPBB等施設配置計画は決定しているか。		不要 不要 不要 不要	
	地盤条件	1) 追加調査の必要はないか。			
	地形条件	1) 用地境界を確認したか。			
	施工条件	1) 施工上で供用施設に係る制約条件(施工時間・制限範囲)は確認した 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 機材及び資材ヤード等が確保されているか。 4) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 5) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況(水質・騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。			
	設計図	1) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が記載されているか。 2) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 3) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・平面図・縦断面図・標準断面図 ・照明灯火構造図・標識工平面図 ・排水系統図・消防水利施設・給油施設(ハイドラント・ピット)・アースリング・タ イタウリング・埋設管用地・共同溝等地下埋設関係 4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。		不要	

【 空港舗装工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		備 考
			発注者	受注者	
	数量計算	5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(路床CBR・設計作用反復回数・設計荷重) ・アスファルト舗装構成(表層・基層・上層路盤・下層路盤・凍上抑制層・置換・排水対策) ・コンクリート舗装構成(コンクリート版厚・路盤・凍上抑制層・置換・目地構造・鉄網の配置・沈下対策・排水対策) ・PC又はRCプレキャスト舗装構成(コンクリート版厚・路盤・凍上抑制層・置換・目地構造・沈下対策・排水対策) ・連続鉄筋コンクリート舗装構成(コンクリート版厚・路盤・凍上抑制層・置換・鉄筋量・端部処理・目地構造・沈下対策・排水対策) 6) 構造物の基本寸法、高さ関係は実態と設計図書が整合しているか。 1) 数量計算は、空港請負工事積算基準と整合しているか。 2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎にまとめられているか。		不要	

【 空港用地造成工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 現地の地形、障害物件等を十分に確認したか。 2) 平面形状及び縦横断勾配が空港土木施設設計基準に合致しているかを確認したか。 3) 全体の土工量について土量バランス等現地発生材料の有効活用について確認したか。 4) 排水計画について流量及び設計荷重を確認したか。 5) 施設規模等は確認したか。 6) 共同溝等地下埋設物の設計荷重及び排水工との位置関係は確認したか。 7) 場周道路・保安道路の舗装構造及び線形施設のクリアランス並びに縦横断勾配等は確認したか。 8) 場周柵の風荷重及び雪荷重、設置位置、ゲートの設置箇所等を確認したか。 9) 目地構造・既設構造物との摺り付け範囲を確認したか。		不要	
	施工上の基本条件	1) 土量配分計画及び工事用道路計画、施工機械の選定、資材搬入計画は、設計の考え方と合致するか。 2) 施工区域に関する制約条件は設計図書に明示しているか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件は設計図書に明示しているか。 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 既設や隣接する工作物、地下埋設物を確認したか。 6) 不法侵入者対策(工事期間中の仮設柵及びゲート等)は十分検討されているか。		不要	
	関連機関との調整	1) 空港管理者との協議は済んでいるか。 2) 防衛庁(供用飛行場)・気象庁・海上保安署との協議は済んでいるか。 3) 河川管理者・道路管理者との協議は済んでいるか。 4) 地権者との調整は済んでいるか。 5) 埋設物・障害物件の所有者・管理者との調整は済んでいるか。 6) 河川協議や環境アセスメントの内容、附帯条件を確認したか。 7) 北海道公害防止条例の適用区域及び規制値が明確になっているか。 8) 土砂の処理場または土捨場の位置、規模は明確になっているか。			

【 空港用地造成工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。 また、現地の地質条件と合致しているか。 2) 測量成果(用地測量図、用地境界、基準点、水準点)はあるか。 また、現地と合致しているか。 3) 埋蔵文化財に関する調査資料はあるか。			
	計画条件の確認	1) 開港時期(供用開始)・年次計画は、決定しているか。 2) 照明工事・無線工事等の計画は決定しているか。 3) 給・排水設備の設置計画は決定しているか。 4) 給油施設の設置計画は決定しているか。		不要 不要 不要 不要	
	地盤条件	1) 追加調査の必要はないか。			
	地形条件	1) 用地境界を確認したか。			
	施工条件	1) 施工上で供用施設に係る制約条件(施工時間・制限範囲)は確認した 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 機材及び資材ヤード等が確保されているか。 4) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 5) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況(水質・騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。 3) 埋蔵文化財の有無を確認したか。			
	設計図	1) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が記載されているか。 2) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 3) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・平面図・縦断面図・標準断面図 ・排水系統図・消防水利施設・共同溝等地下埋設関係 4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。		不要	

【 空港用地造成工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	数量計算	5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(特に盛土擁壁等応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。) ・盛土勾配(常時・地震時円形すべり、地下水対策、法面保護、凍結対策、地盤改良範囲) ・擁壁構造(常時・地震時の安定解析、土圧、設計荷重、地下水対策、基礎構造、配筋計画) 6) 構造物の基本寸法、高さ関係は実態と設計図書が整合しているか。 1) 数量計算は、空港請負工事積算基準と整合しているか。 2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎にまとめられているか。		不要	

【 空港道路・駐車場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	設計基本条件	1) 現地を地形、障害物件等を十分に確認したか。 2) 平面形状及び縦横断勾配が空港土木施設設計基準・北海道空港舗装構造設計指針に合致しているかを確認したか。 3) 交通量・舗装厚・路床支持力を確認したか。 4) 照明灯火・電源路・ライフライン(NTT・上下水道・ガス)は確認したか。 5) 排水勾配と排水口、排水路の位置関係は確認したか。 6) 附帯施設(緑地・歩道・横断歩道・横断歩道橋・橋梁・地下道・トンネル・ルーフ・バス等乗降施設・雨水排水・標識・信号等)は、確認したか。 7) 平面・立体の構造は決定しているか。		不要	
	施工上の基本条件	1) 工事用道路計画、施工機械の選定、資材搬入計画、工程計画は設計の考えと合致するか。 2) 施工区域に関する制約条件は設計図書に明示しているか。 3) 工事工程や施工時期に関する制約条件は設計図書に明示しているか。 4) 仮設工の設置内容は整理されているか。 5) 既設や隣接する工作物、地下埋設物を確認したか。			
	関連機関との調整	1) 空港管理者との協議は済んでいるか。 2) 防衛庁(供用飛行場)・気象庁・海上保安署との協議は済んでいるか。 3) 河川管理者・道路管理者との協議は済んでいるか。 4) 埋設物・障害物件の所有者・管理者との調整は済んでいるか。 5) 駐車場管理会社(貸付先が決定している場合)との調整は済んでいるか。			
	資料の確認	1) 地質調査報告書はあるか。軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。また、現地の地質条件と合致しているか。 2) 測量成果(用地測量図、用地境界、基準点、水準点)はあるか。また、現地と合致しているか。			

【 空港道路・駐車場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	計画条件の確認	3) 主要構造図、縦横断面図、付属構造物図(緑地・歩道・横断歩道・横断歩道橋・橋梁・地下道・トンネル・ルーフ・バス等乗降施設・雨水排水・標識・信号等)等必要な図面は揃っているか。 また、現地と合致しているか。			
	地盤条件	1) 供用開始・年次計画は、決定しているか。			
	地形条件	1) 追加調査の必要はないか。			
	地形条件	1) 用地境界を確認したか。			
	施工条件	1) 施工上で供用施設に係る制約条件(施工時間・制限範囲)は確認した 2) 資材の陸上搬入路に制約条件はないか。 3) 機材及び資材ヤード等が確保されているか。 4) 発生材及びリサイクル計画は検討されているか。 5) 廃棄物処理計画は検討されているか。			
	現地踏査	1) 環境状況(水質・騒音・振動への配慮)を把握したか。 2) 施工上の支障物件の有無を確認したか。			
	設計図	1) 主要構造図・標準断面図には必要な工事内容が記載されているか。 2) 図面が明瞭に描かれているか。使用材料は明記されているか。 3) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・平面図・縦断面図・標準断面図 ・横断歩道・歩道・横断歩道橋・橋梁・緑地帯・立体交差 ・照明灯構造図・標識工平面図 ・排水系統図・上下水道・ガス・NTT等地下埋設関係			
		4) 基本設計の結果が正しく図面に反映しているか。		不要	

【 空港道路・駐車場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 項 目		修 正 意 見
			発注者	受注者	
	数量計算	5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。(路床CBR・交通量・設計荷重) ・アスファルト舗装構成(表層・基層・上層路盤・下層路盤・凍上抑制層・置換・排水対策) ・横断歩道・歩道・横断歩道橋・橋梁・緑地帯・立体交差 ・照明灯構造・標識工 ・地下埋設関係 6) 構造物の基本寸法、高さ関係は実態と設計図書が整合しているか。 1) 数量計算は、空港請負工事積算基準と整合しているか。 2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。 3) 数量のとりまとめは、種類毎、材料毎にまとめられているか。		不要	

設計図書の照査要領（案）

農業部門

平成22年2月

北海道開発局農業水産部農業設計課

【頭首工工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1) 水文等 1) 設計洪水量、河川流量(豊水量、平水量、濁水量)、流域面積、計画取水量、流域面積を確認しているか。					
		2) 下流責任放流量(維持流量、水利権量等)を確認しているか。					
		3) 仮締め切り等条件を確認しているか。					
		(2) 魚道に関して下記事項を確認しているか。					
		1) 漁業権の有無					
		2) 対象魚種					
		(3) 対外関係者や、協議事項による制約事項を確認しているか。					
		(4) 取水ゲートの設計水位、操作水位を確認しているか。					
		(5) 取水ゲート等の操作方法及び管理方法を確認しているか。					
		(6) 頭首工の維持管理方法を確認しているか。					
		(7) 管理橋の設計荷重、形式、幅員等を確認しているか。					
		(8) 耐震設計(設計震度、震度レベル、重要度区分等)に関して確認しているか。					
(9) 沈下、浮上等の影響及び可撓継手の必要性を確認しているか。							
	施工上の基本条件	(1) 水路切り回し、搬入路等の借地の見通しはあるか。					
		(2) 工事時期は決定しているか。					
		(3) 旧施設の撤去条件および撤去時期は明確になっているか。					
		(4) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締め切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。					
		(5) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等)					
		(6) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。					
		(7) 工期を制約する現場条件はあるのか。					
		(8) 関連する工事との調整は取れているか。(土木工事、金物工事、電気工事、上屋工事)					
		(9) 工事施工の用地は確保されているか。					
		(10) 河川の年間流況を確認しているか。					
		(11) 工事用電力源を確認しているか。					
		(12) 建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。					
		(2) 道路管理者との調整は済んでいるか。					
		(3) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。					
		(4) 関連する工作物管理者との調整は済んでいるのか。					
		(5) 地元及び地権者との調整は済んでいるか。					
		(6) 商用電力との調整は済んでいるか。					
		(7) その他の協議(漁協協議・保安林解除等)は済んでいるか。					

【頭首工工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	資料の確認	(1)地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (圧密沈下、地下水位、液状化、地盤支持力、基礎杭の支持力、支持層の根入れ、法面安定、側方移動等)					
		(2)測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。					
		(3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1)地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2)追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む)					
		(2)施工ヤード・スペースは確認したか。					
	施工条件	(1)施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し)					
		(2)工事時期を確認したか。					
		(3)関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1)環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2)支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3)施工時の注意事項は把握したか。					
		(4)工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(5)発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1)全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (水位、地質条件等)					
		(2)使用材料は明記されているか。					
		(3)水位及び取水口の位置・高さ等、設計条件が図面に明示されているか。					
		(4)図面が明瞭に描かれているか。					
		(5)各設計図が相互に整合しているか。(河川協議図書・設計図書・積算書)					
		・一般平面図と縦断図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図					

【頭首工工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計図	(6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。)					
		・壁厚					
		・コンクリート打継位置及び処理方法					
		・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置)					
		・鋼材形状、寸法					
		・使用材料					
		・その他(基礎杭とフーチングの結合方法)					
		・護床・護岸ブロック重量					
		(7) 仮設計画(工事用道路、仮締切り等)について確認しているか。					
		(8) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面と整合しているか。					
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					

【用水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	確認資料	確認項目			備考
			発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1) 水文等				
		1) 機場の吸込水位・吐出水位の計画・最高・最低水位を確認しているか。				
		2) 揚水量の計画最大・最多頻度(期別を含む)・最小の各揚水量を確認しているか。				
		(2) 河道条件(河川改修計画の有無・堤防断面、平面、縦断、横断形状等)を把握しているか。				
		(3) 対外関係者や協議事項を確認しているか。				
		(4) 耐震設計(設計震度、震度レベル、重要度区分等)に関して確認しているか。				
		(5) 沈下、浮上等の影響及び可撓継手の必要性を確認しているか。				
		(6) ゲート・ポンプ・原動機等の操作方法及び維持管理方法を確認しているか。				
	(7) 揚水機の規模・口径は妥当か					
	施工上の基本条件	(1) 施工条件の基本(交通条件、進入路、水の切廻し、工用電力源等)は確認しているか。				
		(2) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。				
		(3) 工事時期は決定しているか。				
		(4) 旧施設の撤去条件および撤去時期は明確になっているか。				
		(5) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等)				
		(6) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。				
		(7) 工期を制約する現場条件はあるのか。				
		(8) 工事施工の用地は確保されているか。				
		(9) 建築、機械設備、電気設備、土木との調整が取れているか。				
		(10) 情報機器設置の必要なスペースや箱抜き・埋め込みなどの考慮がされているか。				
		(11) 情報通信機器設置のための電柱などの施設が考慮されているか。				
		(12) 工用電力源を確認しているか。				
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。				
		(2) 道路管理者との調整は済んでいるか。				
		(3) 関連する工作物管理者との調整は済んでいるか。				
		(4) 消防法での申請・確認が必要か確認したか。(油漏れ等)				
		(5) 商用電力の調整は済んでいるか。				
		(6) 地元及び地権者との調整をは済んでいるか。				
		(7) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。				
		(8) 通信回線等調整は済んでいるか。				
		(9) 周辺井戸等は把握したか。また、対策は講じているか。				
		(10) 建築法との整合が図られているか。				

【用水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目		確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	資料の確認	(1)地質調査報告書があるか。 軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (圧密沈下、地下水位、液状化、地盤支持力、基礎杭の支持力、 支持層の根入れ、法面安定、側方移動等)					
		(2)測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。					
		(3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1)地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2)追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む)					
		(2)施工ヤード・スペースは確認したか。					
	施工条件	(1)施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し)					
		(2)工事時期を確認したか。					
		(3)関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1)環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2)支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3)施工時の注意事項は把握したか。					
		(4)工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(5)発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1)全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (水位、地質条件等)					
		(2)使用材料は明記されているか。					
		(3)水位、揚水量、揚程等、設計条件が明示されているか。					
		(4)図面が明瞭に描かれているか。					
		(5)各設計図が相互に整合しているか。					
		・一般平面図と縦断図 ・構造図と配筋図					

【用水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	確認資料	確認項目			備考
			発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計図	・構造図と仮設図				
		・コンクリート打継位置及び処理方法				
		・護床・護岸ブロック重量				
		・基礎杭とフーチングの結合方法				
		・ポンプの口径、形式、台数				
		・原動機の機種、回転数、出力				
		・附帯設備(除塵設備、換気設備等)の位置				
		・揚水量計及びポンプ等の制御設備				
		(6)設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。)				
		・壁厚				
		・コンクリート打継位置				
		・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、 段落し位置、ガス圧接位置)				
		・鋼材形状、寸法				
		・使用材料				
		・その他(基礎杭とフーチングの結合方法)				
		・護床・護岸ブロック重量				
		(7)仮設計画(工事用道路、仮締切り等)について確認しているか。				
(8)横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面と整合しているか。						
数量計算	(1)公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
	(2)主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					
仮設計画	(1)工事用道路を確認したか。(迂回路・通行止め・交通誘導員)					
	(2)工事用道路の現状を確認したか。					
	(3)施工中の降雨・洪水対策を確認したか。					
	(4)埋戻土仮置場の使用ルールを確認したか。(表土剥ぎ・土木シート)					
	(5)仮締切の構造、締め切り高さを確認したか。					
	(6)仮締切後の本流の流下能力を把握しているか。					
	(7)水替方法及び対象流量を確認したか。					
	(8)仮設土留工法(鋼矢板等の規格、打込長さ)を確認したか。					
	(9)濁水処理の必要性は確認したか。					

【排水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1)水文等 1) 機場の吸水水位の洪水初期、最高、最低、常時初期の各吸水位を確認している 2) 吐出水位の洪水時計画・ピーク洪水時最高、常時計画、常時最低の各吐出水位を確認しているか。 3) 既往の最高湛水位とポンプ場への浸水で運転不能にならないか。 (2) 河道条件(河川改修計画の有無・堤防断面、平面、縦断、横断形状等)を把握しているか。 (3) 対外関係者や、協議事項による試業事項を確認しているか。 (4) 耐震設計(設計震度、震度レベル、重要度区分等)に関して確認しているか。 (5) 沈下、浮上等の影響及び可撓継手の必要性を確認しているか。 (6) ゲート・ポンプ・原動機等の操作方法及び維持管理方法を確認しているか。 (7) 除塵機、スクリーン、ゴミ等の排出方法を確認しているか。 (8) 遊水池及び排水路との取付位置、高さ等を確認しているか。 (9) 水位観測施設の設置位置を確認しているか。					
	施工上の基本条件	(1) 施工条件の基本(交通条件、進入路、水の切廻し、工所用電力源等)は確認した (2) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。 (3) 工事時期は決定しているか。 (4) 旧施設の撤去条件および撤去時期は明確になっているか。 (5) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等) (6) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。 (7) 工期を制約する現場条件はあるのか。 (8) 工事施工の用地は確保されているか。 (9) 建築、機械設備、電気設備、土木との調整が取れているか。 (10) 情報機器設置の必要なスペースや箱抜き・埋め込みなどの考慮がされているか。 (11) 情報通信機器設置のための電柱などの施設が考慮されているか。 (12) 工所用電力源を確認しているか。 (13) 建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。 (2) 道路管理者との調整は済んでいるか。 (3) 関連する工作物管理者との調整は済んでいるか。 (4) 消防法での申請・確認が必要か確認したか。(油漏れ等) (5) 商用電力の調整は済んでいるか。 (6) 地元及び地権者との調整をは済んでいるか。					

【排水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	関連機関等との調整	(7)支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。 (8)通信回線等調整は済んでいるか。 (9)周辺井戸等は把握したか。また、対策は講じているか。 (10)建築法との整合が図られているか。					
	資料の確認	(1)地質調査報告書があるか。 軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (圧密沈下、地下水位、液状化、地盤支持力、基礎杭の支持力、 支持層の根入れ、法面安定、側方移動等) (2)測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。 (3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1)地盤条件を確認できる資料が整っているか。 (2)追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む) (2)施工ヤード・スペースは確認したか。					
	施工条件	(1)施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し) (2)工事時期を確認したか。 (3)関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1)環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。 (2)支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。 (3)施工時の注意事項は把握したか。 (4)工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。 (5)発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1)全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (水位、地質条件等) (2)使用材料は明記されているか。 (3)水位、排水量、揚程等、設計条件が明示されているか。					

【排水機場工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計図	(4) 図面が明瞭に描かれているか。					
		(5) 各設計図が相互に整合しているか。					
		・一般平面図と縦断図					
		・構造図と配筋図					
		・構造図と仮設図					
		(6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。)					
		・壁厚					
		・コンクリート打継位置及び処理方法					
		・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、 段落し位置、ガス圧接位置)					
		・鋼材形状、寸法					
		・使用材料					
		・その他(基礎杭とフォーミングの結合方法)					
		・護床・護岸ブロック重量					
		・ポンプの口径、形式、台数					
		・原動機の機種、回転数、出力					
・附帯設備(除塵設備、換気設備等)の位置							
・排水量計及びポンプ等の制御設備							
・水門設備(設計水位、操作水位)							
	仮設計画	(1) 工事用道路を確認したか。(迂回路・通行止め・交通誘導員)					
		(2) 工事用道路の現状を確認したか。					
		(3) 施工中の降雨・洪水対策を確認したか。					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルールを確認したか。(表土剥ぎ・土木シート)					
		(5) 仮締切の構造、締め切り高さを確認したか。					
		(6) 仮締切後の本流の流下能力を把握しているか。					
		(7) 水替方法及び対象流量を確認したか。					
		(8) 仮設土留工法(鋼矢板等の規格、打込長さ)を確認したか。					
		(9) 濁水処理の必要性は確認したか。					
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					

【ほ場整備工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1)用排水計画 設計流量・引継水路敷高 (2)計画水位 始点引継水位・終点引継水位・分水位引継水位 (3)排水路曲点部で溢水は発生しないか。					
	施工上の基本条件	(1)施工時期の制約があるか。 (2)表土剥ぎの必要な区間を確認しているのか。 (3)仮設道路ルートの確保 (4)スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。 (5)環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等) (6)近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。 (7)建設副産物の処理は適切か。 (8)流末処理の排水先に問題がないか確認したか。					
	関連機関等との調整	(1)河川管理者との調整は済んでいるか。 (2)道路管理者との調整は済んでいるか。 (3)支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。 (4)関連する工作物管理者との調整は済んでいるか。 (5)地権者との調整、現地確認は済んでいるか。 (6)その他の協議(漁協協議・保安林解除・埋蔵文化財等)は済んでいるか。					
	資料の確認	(1)土質・地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 ・地下水位の有無を判断する資料はあるのか。 (2)測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。 (3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む) (2)現場の地形が、設計図書に示されている条件と一致しているか。					

【ほ場整備工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工条件	(1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し・振動・騒音)					
		(2) 工事時期を確認したか。					
		(3) 関連工事との調整状況を確認したか。					
		(4) ほ場へ出入りで病害虫対策の検討は妥当か。(シストセンチウ等)					
	現地踏査	(1) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2) 支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3) 交通状況・河川状況を把握したか。					
		(4) 暗渠工の排水口の有無を把握したか。					
		(5) 使用地に農作物が植えられているか把握したか。					
		(6) 工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(7) 表土厚・土質を地権者と立会確認したか。					
		(8) 周辺の浅井戸を確認したか。また、対策を講じているか。					
		(9) 周辺の希少種等は把握したか。					
	設計図	(1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。					
		(2) 使用材料は明記されているか。					
		(3) 用排水路の敷き高・水位等、設計条件が明示されているか。					
		(4) 図面が明瞭に描かれているか。 ・一般平面図と縦断図 ・表土扱い、ほ場勾配・用排水路計画が示されているか。 ・用水路の構造図と配筋図 ・水路横断構造物の構造図と配筋図(函渠・橋梁)					
		(5) 構造物の基本寸法、高さ関係は示されているか。					
		(6) 構造物の施工性に問題はないか。					
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		(3) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					

【ほ場整備工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	仮設計画	(1) 工事用道路の確保(迂回路・通行止め)					
		(2) 工事用道路の現状を確認し対策が必要か。					
		(3) 施工中の降雨対策					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルール確認(表土剥ぎ・土木シート)					
		(5) 仮締切の構造、高さの確認(計画水位)					

【用水路工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1) 用水計画 設計流量・引継水路敷高 (2) 計画水位 始点引継水位・終点引継水位・分水位引継水位					
	施工上の基本条件	(1) 工事時期は決定しているか。 (2) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。 (3) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等) (4) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。 (5) 工期を制約する現場条件はあるのか。 (6) 工事施工の用地は確保されているか。 (7) 建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。 (2) 道路管理者との調整は済んでいるか。 (3) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。 (4) 土地改良区(施工上の確認・補償施設等)との調整は済んでいるか。 (5) その他の協議(漁協協議・保安林解除・埋蔵文化財等)は済んでいるか。 (6) 工事用地の復旧方法 (7) 農地への出入り口の確保					
	資料の確認	(1) 地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (2) 測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。 (3) 用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1) 地盤条件を確認できる資料が整っているか。 (2) 追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1) 用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む) (2) 施工ヤード・スペースは確認したか。 (3) 資材の運搬路は確保できるか。					

【用水路工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工条件	(1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し)					
		(2) 工事時期を確認したか。					
		(3) 関連工事との調整状況を確認したか。					
		(4) ほ場へ出入りで病害虫対策の検討は妥当か。(シストセンチユウ等)					
	現地踏査	(1) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2) 支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3) 暗渠工の排水口の有無を把握したか。					
		(4) 使用地に農作物が植えられているか、収穫時期を把握したか。(補償の有無)					
		(5) 工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(6) 発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (水位、地質条件等)					
		(2) 使用材料は明記されているか。					
		(3) 水位等、設計条件が明示されているか。					
		(4) 図面が明瞭に描かれているか。					
		(5) 各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図					
		・構造図と配筋図					
		・構造図と仮設図					
(6) 構造物の施工性に問題はないか。							
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		(3) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					
	仮設計画	(1) 工事用道路の確保(迂回路・通行止め)					
		(2) 施工中の用水遮断が可能か。					
		(3) 工事用道路の現状を確認し対策が必要か。					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルール確認(表土剥ぎ・土木シート)					

【排水路工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1) 排水計画 設計洪水流量 (2) 計画水位 始点引継水位・終点引継水位					
	施工上の基本条件	(1) 搬入路等の借地の見通しはあるか。 (2) 工事時期は決定しているか。 (3) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。 (4) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等) (5) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。 (6) 工期を制約する現場条件はあるのか。 (7) 建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。(河川への放流工等) (2) 道路管理者との調整は済んでいるか。(排水路との交差) (3) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。 (4) 土地改良区(施工上の確認・補償施設等)との調整は済んでいるか。 (5) その他の協議(漁協協議・保安林解除・埋蔵文化財等)は済んでいるか。 (6) 工事用地の復旧方法 (7) 地元及び地権者との調整、現地確認は済んでいるか。					
	資料の確認	(1) 地質調査報告書があるか。 軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 (2) 測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。 (3) 用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1) 地盤条件を確認できる資料が整っているか。 (2) 追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1) 用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む) (2) 施工ヤード・スペースは確認したか。 (3) 資材の運搬路は確保できるか。					
	施工条件	(1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し) (2) 工事時期を確認したか。 (3) 関連工事との調整状況を確認したか。					

【排水路工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	現地踏査	(1) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2) 支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3) 暗渠工の排水口の有無を把握したか。					
		(4) 使用地に農作物が植えられているか、収穫時期を把握したか。(補償の有無)					
		(5) 工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(6) 発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (洪水水位、水路標準図、諸元等)					
		(2) 使用材料は明記されているか。					
		(3) 横断図が現地と一致しているか。					
		(4) 図面が明瞭に描かれているか。					
		(5) 各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図					
		・構造図と配筋図					
		・構造図と仮設図					
		・コンクリート打継位置及び処理方法					
		(6) 構造物の施工性に問題はないか。					
		(7) 附帯構造物の位置は設計図の測点と一致しているか。					
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		(3) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					
	仮設計画	(1) 工事用道路の確保(迂回路・通行止め)					
		(2) 施工中の用水遮断が可能か。					
		(3) 工事用道路の現状を確認し対策が必要か。					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルール確認(表土剥ぎ・土木シート)					
		(5) 仮排水、仮締切の構造・規模の確認。					

【パイプライン工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1)土質条件(埋め戻し土・購入土)が明確になっているか。					
	施工上の基本条件	(1)施工時期の制約があるか。					
		(2)表土剥ぎの必要な区間を確認しているのか。					
		(3)仮設道路ルート確保はされているか。					
		(4)スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。					
		(5)環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等)					
		(6)近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。					
		(7)建設副産物の処理は適切か。					
		(8)重要構造物(FP、河川横断、道路横断等)の沈下、浮上等の影響及び可とう継手の必要性を確認しているか。					
		(9)ほ場へ出入りで病害虫対策の検討は妥当か。(シストセンチュウ等)					
	関連機関等との調整	(1)河川管理者との調整は済んでいるか。					
		(2)道路管理者との調整は済んでいるか。					
		(3)支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。					
		(4)その他の協議(漁協協議・保安林解除・埋蔵文化財等)は済んでいるか。					
		(5)地元及び地権者との調整は済んでいるか。					
		(6)地権者対応で用地変更が生じる事案が無いのか。					
		(7)工事用地の復旧方法					
		(8)農地への出入り口の確保					
	資料の確認	(1)土質・地質調査報告書があるか。					
		1)軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。					
		2)地下水位の有無を判断する資料はあるのか。					
		(2)測量成果(平面・縦断)が整備されているか。					
		(3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1)地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2)追加調査の必要性はないか。					

【パイプライン工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む)					
		(2)現場の地形が、設計図書に示されている条件と一致しているか。					
		(3)資材の運搬路は確保できるか。					
	施工条件	(1)施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し)					
		(2)工事時期を確認したか。					
		(3)関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1)環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2)支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3)交通状況・河川状況を把握したか。					
		(4)暗渠工の落ち口の有無を把握したか。					
		(5)使用地に農作物が植えられているか、収穫時期を把握したか。(補償の有無)					
		(6)工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(7)発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1)全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (水位、地質条件等)					
		(2)使用材料は計算書と一致しているか。					
		(3)構造物の基本寸法、高さ関係は照査されているか。					
		(4)図面が明瞭に描かれているか。					
		(5)各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図					
		(6)構造物の施工性に問題はないか。					
	数量計算	(1)公示数量に用いた数値は、設計図面と一致しているか。					
		(2)横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		(3)主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					

【農道橋工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	設計基本条件	(1)水文等					
		1)設計洪水量、河川流量(豊水量、平水量、濁水量)を確認しているか。					
		2)仮締め切り等条件を確認しているか。					
		(2)橋梁の構造・設計等					
		1)基礎(型式、支持力)を確認しているか。					
		2)橋台(型式、落橋防止等)を確認しているか。					
		3)上部工を確認しているか。					
		(3)対外関係者や、協議事項による制約事項を確認しているか。					
	施工上の基本条件	(1)架設条件は決定しているか。					
		(2)環境対策は決定しているか。					
		(3)仮設(仮締切、水替、運搬路、迂回路、ヤード確保)を確認しているか。					
		(4)近接構造物の有無に対する確認は行ったか。					
		(5)近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。					
		(6)工期を制約する現場条件はあるのか。					
		(7)工事施工の用地は確保されているか。					
		(8)建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1)河川管理者との調整は済んでいるか。					
		(2)道路管理者との調整は済んでいるか。					
		(3)警察との調整は済んでいるか。					
		(4)交差道路の管理者及び公安委員会との調整は済んでいるか。					
		(5)地元及び地権者との調整は済んでいるか。					
	資料の確認	(1)土質・地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 ・地下水位の有無を判断する資料はあるか。					
		(2)測量成果(平面・縦断・横断)は整備されているか。					
		(3)用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1)地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2)追加調査の必要性はないか。					

【農道橋工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	地形条件	(1)用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む) (2)現場の地形が、設計図書に示されている条件と一致しているか。					
	施工条件	(1)施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し) (2)工事時期を確認したか。 (3)関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1)環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。 (2)支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。 (3)交通状況・河川状況を把握したか。 (4)発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1)全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (設計条件、地質条件等) (2)構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているか。 (3)図面が明瞭に描かれているか。 (4)各設計図が相互に整合しているか。(誤謬・脱漏の有無) ・一般平面図と縦断図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図 (5)設計計算書の結果が設計図に反映されているか。 ・壁厚、鉄筋、鋼材、使用材料 (6)使用材料は明記されているか。 (7)仮設計画について確認しているか。					
	数量計算	(1)公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。 (2)横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面と整合しているか。					

【農道工工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工上の基本条件	(1) 施工時期の制約があるか。(通行止め・片側通行)					
		(2) 仮設道路ルート確保があるか。					
		(3) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。					
		(4) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等)					
		(5) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。					
		(6) 工事施工の用地は確保されているか。					
		(7) 建設副産物の処理は適切か。					
		(8) ほ場へ出入りで病害虫対策の検討は妥当か。(シストセンチウ等)					
		(9) 側溝等の排水先に問題がないか確認したか。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。					
		(2) 道路管理者との調整は済んでいるか。					
		(3) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるか。					
		(4) 関連する工作物管理者との調整は済んでいるか。					
		(5) 交差道路の管理者及び公安委員会との調整は済んでいるか。					
		(6) 地元及び地権者との調整は済んでいるか。					
		(7) その他の協議(漁協協議・保安林解除・埋蔵文化財等)は済んでいるか。					
	資料の確認	(1) 土質・地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 ・地下水位の有無を判断する資料はあるか。					
		(2) 測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。					
		(3) 用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
		(4) 地下埋設物の有無を判断する資料はあるか。					
	地盤条件	(1) 地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2) 追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1) 用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む)					
		(2) 現場の地形が、設計図書に示されている条件と一致しているか。					

【農道工工事】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工条件	(1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し)					
		(2) 工事時期を確認したか。					
		(3) 関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2) 支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3) 交通状況・河川状況を把握したか。					
		(4) 暗渠排水工の排水口の有無を把握したか。					
		(5) 使用地に農作物が植えられているか把握したか。					
		(6) 側溝等の流末状況の確認は行ったか。					
		(7) 発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (道路規格、切り盛り土勾配、小段排水、地質条件等)					
		(2) 使用材料は明記されているか。					
		(3) 図面が明瞭に描かれているか。					
		(4) 各設計図が相互に整合しているか。(誤謬・脱漏の有無)					
		・一般平面図と縦断図					
		・舗装厚等の舗装の諸元					
		・構造図と配筋図					
(5) 設計計算書の結果が設計図に反映されているか。							
(6) 構造物の施工性に問題はないか。							
(7) 構造物の基本寸法、高さ関係は示されているか。							
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面と整合しているか。					
	仮設計画	(1) 工事用道路の確保(迂回路・通行止め)は可能か。					
		(2) 施工中の用水遮断が可能か。					
		(3) 工事用道路の現状を確認し対策が必要か。					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルールを確認(表土剥ぎ・土木シート)したか。					

【鉄筋コンクリート構造物】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工上の基本条件	(1) 施工時期の制約があるか。					
		(2) 環境上特に配慮すべき事項があるのか。(水質・生物・騒音・振動等)					
		(3) スペース、ヤード、工法、仮設(仮締切、水替、濁水処理)等の制約条件があるのか。					
		(4) 近接構造物、地下埋設物の有無を確認したか。					
		(5) 工期を制約する現場条件はあるのか。					
		(6) 工事施工の用地は確保されているか。					
		(7) 建設副産物の処理は適切か。					
	関連機関等との調整	(1) 河川管理者との調整は済んでいるか。					
		(2) 道路管理者との調整は済んでいるか。					
		(3) 施設管理予定者との調整は済んでいるのか。					
		(4) 交差道路の管理者及び公安委員会との調整は済んでいるか。					
		(5) その他の協議(漁協協議・保安林解除等)は済んでいるか。					
		(6) 支障物件の移設時期、調整は済んでいるのか。					
	資料の確認	(1) 土質・地質調査報告書があるか。 ・軟弱地盤の判断に必要な資料はあるか。 ・地下水位の有無を判断する資料はあるか。					
		(2) 測量成果(平面・縦断・横断)が整備されているか。					
		(3) 用地境界が明確であるか。(発注者が用意した借地図を含む)					
	地盤条件	(1) 地盤条件を確認できる資料が整っているか。					
		(2) 追加調査の必要性はないか。					
	地形条件	(1) 用地境界を確認したか。(発注者が用意した借地境界を含む)					
		(2) 施工ヤード・スペースは確認したか。					
		(3) 資材の運搬路は確保できるか。					

【鉄筋コンクリート構造物】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	施工条件	(1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース・交通条件・水の切り廻し・振動・騒音)					
		(2) 工事時期を確認したか。					
		(3) 関連工事との調整状況を確認したか。					
	現地踏査	(1) 環境状況(工事における振動、騒音等の配慮面)を把握したか。					
		(2) 支障物件(地下埋設物、電線・通信線との離れ等)の状況を把握したか。					
		(3) 交通状況・河川状況を把握したか。					
		(4) 周辺の浅井戸等は把握したか。また、対応を講じているか。					
		(5) 周辺の希少種等は把握したか。					
		(6) 工事で使用する既設道路の路面状況を把握しているか。					
		(7) 発生土の受入地及び運搬経路を把握しているか。					
	設計図	(1) 全体一般図に必要な項目を記載しているか。 (設計条件、地質条件等)					
		(2) 構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているか。					
		(3) 図面が明瞭に描かれているか。					
		(4) 各設計図が相互に整合しているか。(協議図書・設計図書・積算書)					
		・一般平面図と縦断図					
		・構造図と配筋図					
		・構造図と仮設図					
		(5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。)					
		・壁厚					
		・コンクリート打継位置及び処理方法					
		・鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置)					
		・鋼材形状、寸法					
		・使用材料					
		・その他(基礎杭、杭の結合)					
		・基礎杭とフーチングの結合方法					

【鉄筋コンクリート構造物】

照 査 項 目 一 覧 表

No.	項目	主な内容	確認資料	確認項目			備考
				発注者	工事受注者	業務受注者	
	数量計算	(1) 公示に用いた数量及び数量計算に用いた寸法は、設計図面と一致しているか。					
		(2) 横断図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		(3) 主要資材の規格・寸法・設計条件等は設計図面と一致しているか。					
	仮設計画	(1) 工事用道路の確保(迂回路・通行止め)					
		(2) 施工中の用水遮断が可能か					
		(3) 工事用道路の現状を確認し対策が必要か					
		(4) 埋戻土仮置場の使用ルール確認(表土剥ぎ・土木シート)					
		(5) 仮排水路のルート・規模は妥当か。					
		(6) 濁水処理の必要性は確認したか。					